パスキー登録 支援窓口開設

来月、三菱UFJ eスマート証券 山形にコールセンター



新設するコールセンターを視察する飛松一樹社長（左）と村上秀夫社長（中央）＝山形市、ウィルオブ・ワーク山形BPOセンター

ネット証券会社「三菱UFJ eスマート証券」（東京、飛松一樹社長）は11月2日、顧客に対して顔や指紋などの生体認証「パスキー」の登録を支援するため、問い合わせ窓口となるコールセンターを山形市東原2丁目で開設する。同証券として専門窓口の設置は初で、セキュリティーを向上させ、顧客の資産を守ることが目的。29日に現地で開所式を行った。

同所でコールセンター「山形BPOセンター」を運営する、ウィルオブ・ワーク（東京、村上秀夫社長）に業務委託した。ウィルオブ・ワークが新たに16人を雇用し、約20人のスタッフがパスキー登録に関する問い合わせに対応する。

金融業界では、なりすまし対策としてパスキーの導入が進んでおり、同証券も今月末をめどに認証を必須化する。開所式で飛松社長は「顧客が安心して資産形成できるよう、パスキーの設定を電話でサポートしたい」と述べた。（上村耕平）

無断複製・転載を禁じます